

令和８年度 医療依存度の高い患者の在宅療養に関わる看護職支援事業 対面型研修 プログラム

研修名	研修目的	研修目標	研修方法 (定員数)	研修日時 時間 (休憩含む)	研修場所	担当者
１．慢性疾患を抱える患者への精神的支援 (事例検討)	*対象者：慢性疾患（慢性心不全・慢性腎不全・糖尿病など）患者への精神的支援についてお困りの事例がある方。対応について検討したい方		講義 グループワーク (定員15名)	10月20日（火） 13：30～15：00 約90分	東病棟12階 セミナー室2	荻堂 盛大 江田 由美子
	慢性疾患患者の精神状態を理解し、支援方法を検討することが出来る	①慢性疾患患者の精神症状（抑うつや不安など）について理解する ②慢性疾患患者の精神症状への対応を検討することができる				
２．ストーマ患者のケア	*対象者：オンデマンド配信「Ⅲ-3. ストーマ患者のケア」の動画を事前に視聴可能な方（事前の視聴は推奨です） *人数が限られるため、1施設1人以内での応募をお願いします		講義 演習 (定員10名)	10月21日（水） 14：00～16：30 約150分	東病棟12階 セミナー室2	増田 未散
	ストーマ（人工肛門・人工膀胱）管理の基本的なケア方法が分かる	① ストーマケアの基本が分かる ② 管理困難なストーマケアのポイントがわかる				
３．人工呼吸器の仕組みとフィジカルアセスメント	*対象者：聴診器を持参可能な方		講義 演習 (定員10名)	10月28日（水） 10：00～12：00 約120分	中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室	田中 貴子 片岡 早希子
	人工呼吸器管理の基本的な仕組みとフィジカルアセスメントを学ぶ	①陽圧管理と自然呼吸の違いを理解し、必要な知識を習得する ②人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環について理解できる ③人工呼吸器管理中の患者の意識・呼吸・循環の情報を収集しアセスメントすることができる				
４-1．感染対策の基礎	*対象者：対面型研修「４-1．感染対策の基礎」「４-2．感染対策の応用」を通して受講可能な方		講義 (定員20名)	11月13日（金）	東病棟12階 セミナー室2	
a. 標準予防策	標準予防策が理解できる	①標準予防策の項目を知ることができる ②標準予防策を実践できる		9：15～9：35 約20分		
b. 手指衛生	手指衛生の必要性、タイミング、正しい方法が理解できる	①感染対策の基本である手指衛生を学ぶことができる ②正しい技術を習得できる		9：35～9：55 約20分		
c. 感染経路別予防策	感染経路別予防策が理解できる	①3つの感染経路別予防策（接触・飛沫・空気）の違いがわかる ②上記に必要な個人防護具を選択できる		9：55～10：25 約30分		
４-2．感染対策の応用			演習 (定員20名)	11月13日（金）		藤本 陽子 手塚 美奈 吉田 真由美
a. 手指衛生と個人防護具の演習	適切な手指衛生、状況に応じた個人防護具の選択及び患者にも自身にも安全な着脱方法が理解できる	①正しい手指衛生を実践できる ②必要な個人防護具の選択ができ、正しい着脱方法が実践できる		10：35～11：05 約30分		
b. 事例検討	自施設で実現可能な感染対策がわかる	事例・グループワークを通じて必要な感染対策を考えることができる		11：10～12：00 約50分		
５．家族ケアに活かすアセスメント (事例検討)	*対象者：家族ケアに関してお困りの事例がある方、アセスメント方法について学びたい方 オンデマンド配信「Ⅲ-5. 家族アセスメント」の動画を視聴可能な方（事前の視聴は推奨です）		講義 グループワーク (定員15名)	11月17日（火） 13：30～15：00 約90分	東病棟12階 セミナー室2	江田 由美子 市川 麻紀 荻堂 盛大
	家族ケアにおける困難事例を共有し、介入方法を検討することができる	①家族アセスメントに必要な情報を理解することができる ②困難事例の問題点を整理し共有することができる ③困難事例への家族ケアを検討できる				
６．がん性疼痛ケアの実践 ～医療用麻薬の管理・PCAの実践と事例検討～	*対象者：オンデマンド配信「Ⅱ-2-d. がん性疼痛のケア」「Ⅱ-2-e. がん性疼痛における医療用麻薬の管理」の動画を視聴可能な方（事前の視聴は推奨です）		講義 演習 (定員10名)	11月19日（木） 14：30～16：30 約120分	中央診療棟7階 総合臨床研修センター カンファレンス室 演習室1～3	前田 望花 坂口 まみ
	医療用麻薬およびPCAの適切な使用・管理方法について理解し、がん性疼痛を有する患者への支援を検討することができる	①医療用麻薬の適切な使用・管理方法について理解することができる ②PCAポンプの操作について理解し、実践につなげることができる ③事例検討を通してがん性疼痛を有する患者への支援方法を考えることができる				
７．摂食嚥下スクリーニングと食事介助方法の検討	*対象者：オンデマンド配信「Ⅲ-1. 摂食嚥下機能の基本的なメカニズムと食事支援」の動画を視聴可能な方（推奨です）		講義 演習 (定員10名)	11月24日（火） 13：00～15：00 約120分	中央診療棟7階 総合臨床研修センター シミュレーション室1	信國 知代
	嚥下スクリーニングを行い、食事介助（食事形態とポジショニング）の方法を検討できる	①嚥下スクリーニング方法を理解し実践できる ②スクリーニングの結果から食事形態とポジショニングを検討できる				
８．エビデンスに基づく在宅での褥瘡ケア (事例検討)	*対象者：在宅の褥瘡ケアで難渋症例や疑問を抱えている方		講義 グループワーク (定員18名)	11月25日（水） 13：30～16：00 約150分	東病棟12階 セミナー室2	原野 寿子
	高齢者の褥瘡に対するケアを検討できる	①褥瘡の知識のアップデート ②褥瘡の創面評価と初期対応 ③困難事例を検討				
９．もやもや（倫理的ジレンマ）をみんなで話し合ってみよう (事例検討)	*対象者：在宅療養支援の場面において、もやもやしたり精神的支援についてお困りの事例がある方。対応について検討したい方		講義 グループワーク (定員20名)	11月30日（月） 14：30～16：00 約90分	東病棟12階 セミナー室2	安達 美樹 石坂 暁子 岡本 泰子 江田 由美子
	在宅療養を支える中で生じる「もやもや（倫理的ジレンマ）」を共有し、倫理的な視点で振り返ることができる	①自身の実践にて感じた「もやもや」を言語化できる ②倫理的な課題について、ジョンセンの4分割表を使って検討することができる ③患者の意思決定能力や背景を踏まえた関わりを検討することができる				